

第4回安全安心まちづくり検討会議事概要

平成18年12月18日(月)

|                        |  |
|------------------------|--|
| 議 題                    | 提言(案)「犯罪のない安全で安心なまちづくりのために」<br>～高知県犯罪のない安全安心まちづくり条例(仮称)についての基本的な考え方～<br>について   |
| 安全で安心なまちづくりの検討の背景      |  |
| 1 県内の犯罪の発生状況           | 「県内の犯罪の発生状況」の「昭和期の比較的治安が安定していた昭和54年頃」とあるが、「昭和期」は通常使用する言葉ではない。<br>「比較的治安が安定していた昭和40年代後半から50年代前半」と修正。  |
| 条例に盛り込むべき事項について        |  |
| 1 前文                   | <p>「住民と行政が協働して進めていくことを県民に伝えるために、前文を設ける必要があります。」とあるが、前文は県民に「理解してもらうため」ではないか。<br/>「理解してもらうため」と修正。</p> <p>(県民から寄せられた「昔の地域社会は一つの価値観を押しつけ、お互いに監視するものであった。これからの地域社会のあり方は、現在の生活様式のうえに『自分たちの地域の安全をともに守ろう』とする新しいものであってほしい。こうしたこれからの地域社会づくりにあっては、個々の自主性が重んじられなければならない、活動への参加が強要されるものであってはならない」との意見を受けて、事務局が【趣旨】に「基本的な人権に配慮しながら」との文言を盛り込むことを提案したことに対して)</p> <p>活動は参加を強要されるものではなく、自由意志に基づいて行うこと、また、見守り活動のなかでも、プライバシーの尊重が必要であり、そういった視点から事務局の提案どおり、「基本的な人権に配慮しながら」を加えることで良いと思う。<br/>自主的な参加がここの趣旨だと思う。<br/>事務局提案の「基本的な人権に配慮しながら」の文言を盛り込む。</p> |
| 3 基本理念                 | 「県、県民、事業者、地域で活動する団体などが共通な認識を持って」とあるが、市町村も協力をして取り組んでいくのだから、「市町村」を入れるべきではないか。<br>市町村を追加。   |
| 12 防犯活動を行う団体についての情報の共有 | 「安全で安心なまちづくりが十分でない地域において活動が芽生える」とあるが、何をもって地域の取組が十分でないか明確でないので、修正が必要ではないか。<br>「安全で安心なまちづくりへの取組が県内で広がっていく」に修正。   |
| 14 少年の健全育成             | 安全安心まちづくりという視点から、より「環境づくり」に重点を置いた事務局の書き方でよい。<br>後段の「安全で安心なまちづくりを進めるうえで必要な取組について」の表題が「健全育成」とあるが、「14 少年の健全育成」に表現を統一してはどうか。   |

|   |  |
|---|--|
|   | <p>少年と表現すると十代という感じになってくる。もっと小さい子どもと表現してはどうか。少年非行という前に、もっと小さい子どもの頃からの健全に育つ環境といったものが大事。</p> <p>少年となれば、少し年齢の上がったイメージがある。少年でも、自分達から見ると子どもは子どもであるので「子どもの健全育成」で良いのではないか。</p> <p>「犯罪を起こすことから守っていく」とあるが、いわゆる二十歳未満の少年という段階では遅いのではないか、小学校、さらに小学校に上がる前が大事だ。</p> <p>その中で、愛情に包みながら、何が正しくて、何がいけないかという規範をきちっと教えていく、責任感を持たせる、それを「少年」で整理したのでは時期的に遅い。食育が大切といわれるようになったように、幼児期の発達に応じた対応が必要。幼少期からの健全育成を入れるべき。</p> <p>子どもたちが健全に育つ環境づくりにみんなで努力をしていくといった趣旨で修正する。</p> |
| <p>18 住宅等の安全の確保</p>   | <p>共同住宅に限った取組ではなく、グループホームなど、今後いろいろな形態がでてくることを視野に入れた取組の表現をしてほしい。</p> <p>「不特定多数の者が出入りすることができる共同住宅などでは」に修正。</p>   |
| <p>安全で安心なまちづくりを進めるうえで必要な取組について</p> <p>2 具体的な内容</p> <p>(1) 地域住民がお互いに見守り、支え合う地域社会を作ること</p>  |  |
| <p>健全育成</p>   | <p>小学生の健全育成のための活動拠点づくりとして、学校の校庭を開放してほしい。</p> <p>公園でのボール遊びは、近所の家庭から危ないと苦情があり、できない。こういうことから家の中でゲームをして遊ぶようになる。</p> <p>児童委員が実施した小中学生対象のアンケートでも、土日の居場所がほしいという要望がたくさんあった。</p> <p>ここの取組にある放課後や週末における安全で安心な活動拠点、居場所づくりが必要だとかかっているが、推進計画で具体化していくことが大切だと思う。</p>  |
| <p>会長あいさつ</p>   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化が進行して、地域のネットワークが薄れている中で、この条例を作っていこうという提言することは意義深いことだと思う。</li> <li>・何気なく20年ほど前の生活を映したテレビを見た。内容は、地域のつながりが強く、地域の方に見守られて育っていく子どもの姿であったが、こういったことが、今、失われている。</li> <li>・そういった時代だが、意識を高めていけば、安全で安心に暮らしていくことは不可能ではないし、取り組んでいかなければならないことで、条例がその一つの契機になればと思う。</li> <li>・委員の皆様が熱心に取り組んでいることを知って、驚いた。取組がもっともっと広がるのが大事だと感じた。</li> </ul> |  |